

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立大道南小

学校

児童数

67

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.23	21.20	33.91	35.60	54.21	8.90	164.49	21.37	54.41
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.30	19.12	39.36	34.36	37.03	9.68	146.03	11.59	52.90
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」における本校5年生児童の結果は、男女別にみると、男子において8種目のうち7種目で全国平均・大阪市平均を上回った。特に20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びでは大きく上回り、近年の類をみない結果となった。女子においては、8種目のうち4種目で平均値を上回り、特に20mシャトルラン、立ち幅跳びにおいて大きく上回った。「体力合計点」で見ていくと、男子は全国平均から1.8ポイント上回り、女子は全国平均は下回ったものの、大阪市平均と比較し0.43ポイント上回った。今年度は特に男子において飛躍的に記録が向上した。この結果に呼応するように、児童質問紙における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目において、男子は97.2%が肯定的な回答をしており、1週間の総運動時間の調査では、420分以上が62.9%と全国平均を12.4ポイントも上回った。女子においては「運動やスポーツが好き」と回答した児童は全国平均を3.3ポイント下回った。特筆すべきは1週間の総運動時間で「全く運動しない（0時間）」と回答した児童が30.3%もいたことである。このような結果から、やはり、運動が好きだというのが、運動時間の増加につながり、運動能力の向上に大きな影響を与えているといえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度、本校では、最重要目標の一つとして「未来を切り拓く学力・体力の向上」に取り組み、体育の学習を充実させたり、なわとび週間やかけあし週間等の取り組みを行ったりして、体力の向上を図ってきた。その結果、校内児童アンケートでは83%の児童が「運動やスポーツが好き」という問いに対して肯定的な回答をしており、取り組みが着実に効果を見せている。また、今年度は男子において反復横とび以外の全ての種目で全国平均を上回ったことは大きな成果である。しかし、この結果を分析することで本校の今後取り組むべき課題が見えてきた。今年度男子の調査結果が全国平均を上回ったのは、児童質問紙の結果から分かる通り、運動やスポーツが好きな児童が多く、全国平均を大きく上回る、実に73.5%もの児童が進んで体育の学習に参加していることに起因している。しかし、それ

以上に全国平均を10ポイント以上上回る77.1%の児童が学校外での習い事においてスポーツをしていることが大きな要因ではないかと考えられる。また、女子においては、習い事でスポーツをしている児童の割合は全国平均とほぼ同じであり、体育の学習にも全国平均を上回る60.6%の児童が進んで参加していると答えている。しかし、30%以上の児童が学校外において全く運動しておらず、運動をしている児童としていない児童の間に運動能力において大きな開きが生まれていることがわかった。この二極化が本校の大きな課題である。そのため、家庭の事情により児童の能力に差を生むことがないように学校でいかに児童の運動量を確保し、自ら進んで運動に取り組む思考を育んでいくかが本校が今後取り組んでいく課題である。

